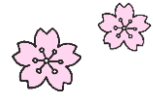




本村幼稚園 3月の園だより

平成29年2月28日 港区立本村幼稚園長 黒田 泰正



3月、最後の月を迎えて

園長 黒田 泰正

早いもので、もう今年度最後の月、3月を迎えます。2月は、春一番の吹くあたたかい日もあれば、その前後の寒い日も多くありました。今年の春はゆっくりと歩んでいるように感じます。春の訪れのうれしさと共に、「もうすぐお別れ・・・」という一抹の寂しさも心をよぎります。改めて、最後の月、3月の一日一日を大切に、充実した日々を過ごしていきたいと思えます。

2月を振り返ると、充実したよい日が続きました。

先日の2月4日（土）の生活発表会では、たくさんの保護者・地域の皆様にご参観いただきましてありがとうございました。たくさんの拍手に顔をほころばせていた子どもたち、一人ひとりが自信をつけたことと思えます。また、担任の先生たちにとっては、ここまで劇を演じ、ここまで合奏をさせるのに長い長い指導の日々だったと思えます。終わってほっとした先生方の表情も印象に残っています。はと組の劇「にんじゃとにんぎょひめ」や合奏「ドレミの歌」はさすがに年長組と思わせるシーンがたくさんみられました。チャレンジの「こま」「竹馬」「なわとび」もとても上手で、成長する子どもの姿に感激でした。りす組の劇「オオカミとコヤギたち」は、かわいらしく、オオカミのユーモアある工夫や、ヤギの家族のあたたかさにもふれて楽しかったです。来年の今頃は、はと組での育った姿を見られるかなと心の中で夢を見ました。そして、お母さん方の出し物もあり、すばらしかったです。練習がたいへんだったでしょう。でも子どもたちが目を見張って、ドキドキして見ていて、終わったら喜びでいっぱいだったと思えます。ありがとうございました。

2月21日（火）には、幼稚園全員でお別れ遠足にいきました。バスで「サンリオピューロランド」にいきました。寒さと暖かさが同居した1日でした。いっしょにマイメロードドライブやキャラクターポートライドに乗って、メルヘンの森の中を探検して、幼児といっしょに楽しみました。昼食はレストラン施設で準備されたお弁当を食べました。一口ゼリーにいろいろな種類があって、子どもたちととりかえっこをしました。同じテーブルで幼児といっしょに、もうすぐくる2つのクラスのお別れを思いながら、楽しく食べました。舞台でのショーも宝塚風で、たくさんのキャラクターが出てきて、素晴らしいものでした。大使館前のバス停に着いたとき、お家の方を見つけたときの幼児たちのうれしそうな表情が、輝く宝物を見ているようでした。

私が幼児たちに育てたいことの一つに「感謝する気持ち」があります。「ありがとう」「お世話になりました」という気持ちをもてるようにと常日頃から思っています。このことは、いつも、行事や生活の中で、先生たちやご家庭が「〇〇してくださいましたね」「〇〇してくれたら何ていうのかな」とくりかえし話していくことが大切です。バスの運転手さんや、サンリオの係りの方々にも、きちんと大きな声でお礼が言えました。最後の3月も、周りの人たちに感謝の心を育てる心で子どもたちと接していこうと思います。年度末にあたり、この1年間、幼稚園に保護者・地域の皆様の温かいご支援、ご協力をいただきましてありがとうございました。これからも、本村幼稚園のよき応援団でいてください。よろしくお願ひします。



<りす組の歌>



<はと組の合奏>



<サンリオピューロランド>